

平成 28 年 4 月 1 日現在における待機児童等の状況及び
待機児童解消に向けた取組みについて

1 保育施設の利用状況及び待機児童数（平成 28 年 4 月 1 日）

(1) 新規利用状況 (単位：人)

	平成 28 年度	平成 27 年度	差
認可保育施設新規申込 (1)	1,906	1,677	229
認可保育施設新規入所者数 (2)	1,262	1,155	107
認可保育施設待機児童数 (1) - (2) (3)	644	522	122
認証保育所利用 (4)	151	163	-12
私的な理由等 (5)	236	187	49
待機児童数 (3) - [(4) + (5)] (6)	257	172	85

(2) 保育施設の利用状況 (単位：人、%)

就学前人口 (7)	13,085	12,636	449
保育施設利用児童数 (8)	5,311	4,871	440
保育需要数 (6) + (8) (9)	5,568	5,043	525
保育需要率 (9) ÷ (7) (10)	42.6%	39.9%	2.7ポイント

(3) 年齢別待機児童数 (単位：人)

	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
待機児童数	60	128	47	21	0	1	257

(4) 地域別待機児童数 (単位：人)

	本町	中央	東中野	中野	その他	合計
待機児童数	32	28	29	29	139	257

2 保育需要率と待機児童数の推移 (各年 4 月 1 日)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
保育需要率 (%)	35.60	36.94	36.84	39.14	39.90	42.60
待機児童数(人)	135	114	147	241	172	257

※保育需要率は、対象年齢人口（0～5歳人口）に占める、認可保育所、認証保育所等利用児童数（待機児童数含む）の割合

3 待機児童解消に向けた取組み

(1) 私立認可保育施設の追加誘致

① 需要見込み

就学前人口の増加や待機児童の状況、近年の保育需要率を考慮し、平成 29 年度の保育需要を平成 28 年 1 月時点の見込みであった 5,638 人から、さらに 313 人増となる 5,951 人へ見直した。

②確保方策

補正予算を計上し、認可保育所（80人想定）8施設、認可小規模保育所（19人想定）5施設の追加誘致を進めることにより、平成28年度当初予算に計上済の認可保育所5施設と合わせ、約1,000人の定員増を図ることとした。

（単位：人）

年 齢		平成 29 年度			
		0 歳	1～2 歳	3～5 歳	計
保育需要見込み（A）		771	2,434	2,746	5,951
総定員見込み（B）		805	2,487	3,355	6,647
平成 28 年 度	4月の定員数	643	2,108	2,807	5,558
	新規拡充（当初予算分）見込み	15	91	188	294
	新規拡充（補正予算分）	87	288	360	735
	定期利用保育事業対応	60	0	0	60
差引（B－A）		34	53	609	696

（2）その他の取組み

①賃貸物件への賃借料補助の拡充

新規私立認可保育所に占める割合の多い、賃貸物件型保育所への賃借料にかかる補助を拡充する。

②不動産情報と保育整備のマッチング

不動産業界との協力関係の構築や町会・自治会、土地所有者への協力依頼を通して、保育施設の整備促進を図る。

③まちづくりとの連動

まちづくりの進展により、建替えが活性化するなど、面的なまちづくりが行われる地区において、保育所誘致のための積極的な働きかけを行う。

④事業所内保育事業の促進

保育需要の新たな受け皿となる事業所内保育所整備を促進するため、区内企業及び関係団体へのPRと協力依頼を行っていく。

⑤私立幼稚園の預かり保育の推進に向け、協力依頼等を行っていく。

⑥保育士確保への支援強化

保育士に対する宿舍借り上げへの家賃補助を進めるほか、保育士確保への支援の強化を図っていく。